

5月定例山行

5月25日(日) 大箒山

参加者22名

CL 永谷彰彦 SL 小林愷子
中島康、林、石倉、藤本忠
佐々木敏、三村、大久保
宮木一、平田、原田、円山
村島、鬼武、倉橋、上別祖
池上、川村、宮木ス、三浦
成広



コースタイム

県庁北口7:10⇒8:35温井滝山峡大橋手前林道分岐8:50→登山口9:15→
11:50山頂12:45→虫木林道14:25→虫木峠15:20 ⇒16:50県庁北口着

○

雨天のため縦走コースを取りやめて温井からの直登ルートに登った。

下りは予定通り虫木峠を目指して稜線に沿って進み大体予定していた林道の地点に下りた。頂上より下りはほとんどやぶこぎであった。

今回の山行は珍しくリーダー以外は初登頂で下りのルートは全員初めてであった。

珍しい花「サルメンエビネ」「サイハイラン」にあえた、ゆっくりと全員で地図の確認をしながらやぶこぎをやりたかった、小雨のため先を急ぎすぎてしまってすみませんでした。

(記 永谷彰彦)

○

登りは倒木を避ける為、下りは滑りやすい山道(?)のヤブこぎのため、手足及び上下半身を良く動かした山行であった。

登りはハードル競技のような感じがした。

ブナの木が見えてきたあたり、その幹に熊の爪痕が残っていた。熊に出会ったらどうやって逃げたら良いかと一瞬考えってしまった。幸い熊の胃袋にも収まることもなく全員無事。

それにしても一人で登っていたら身の安全はおぼつかないような雰囲気も漂っていた。ブルブル。やはり皆で登れば熊も怖くない?。

永谷さんが、動物的カンを働かせて開拓者精神で山登りをする旨のことを言われましたが、新入会員にはとてもその域に達することは出来ません。今後はトレーニングを重ね、いろいろな山を経験して行きたいと気持ちを新たにしています。

(記 林代志明)